

## BIRDJAPAN 募金／支援活動報告書

団体名 石川県バドミントン協会

名称	がんばろう能登プロジェクト 第4弾 被災された能登地区の子どもたちへのバドミントン環境を整える 【～夢中にバドミントンができる機会を～】
種別	被災地での活動 / 被災地外での活動 (いずれかに○をすること)
目的の達成度	<p>目的達成度：100%</p> <p>効果：能登地区のジュニア世代85名が参加した。S/Jで活躍する金沢学院クラブの選手たちが普段練習できないメニューやノックの球出しを行なったり、トップ選手とエキシビションを行なうことで1日がすぐ終わってしまった感じでした。</p> <p>小中学生の笑顔を見ることができたことは、このプロジェクトを実施したかいがありました。</p> <p>選手：バドミントンを通じて元気・笑顔を取り戻していた。 バドミントンの楽しさを知る・感謝の気持ちを持てる選手の育成 選手たちに感想を聞くと、練習やノック、メニューがあり楽しく1日を過ごせたと言っていました。</p> <p>総括：このような企画をもっと実施していき、競技人口の増加及び競技力向上を成し遂げたい。また、未経験者を取り込み、バドの楽しさをわかるような企画を検討していきたい。</p> <p>企画を通して ⇒ 高校生からジュニア世代へ拡大 ⇒ 地域のバドミントンの活性化 ⇒ 被災地の方々の自立 【バドミントンを通じた持続的な支援に向けたムーブメントをつくる】</p>
具体的な内容 (実施日時・会場・ 参加人数等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 7月27日(土)</li> <li>・会場 鹿島体育センター(中能登町)</li> <li>・主催 石川県バドミントン協会・金沢学院クラブ</li> <li>・主管 がんばろう能登プロジェクト笑顔バド</li> <li>・対象 能登地区の小学生・中学生</li> <li>・参加者/協力者 金沢学院クラブ 坂井・伊藤(能登出身)・高木 石川県バドミントン協会 能登地区のジュニアチーム及び指導者</li> <li>・参加人数 ジュニア85名</li> </ul>
その他	

